

# 和

Wa

2022 summer  
Vol.62

- ◆ 専門外来のご案内  
「小児救急・感染症内科について」
- ◆ チーム医療のご案内  
「認知症ケアサポートチーム活動紹介」
- ◆ がん診療について  
「頭頸部外科について」
- ◆ 連携登録医の紹介
- ◆ 栄養だより  
「おいしく減塩 <乳和食>」

◆ 専門外来のご案内 ◆

小児救急・感染症内科について

小児救急・感染症内科部長 天羽 清子

当科のスタッフは小児感染症・小児救急を専門としており、2022年4月より科名を小児救急・感染症内科に変更しました。

大阪における小児救急医療の「最後の砦」として、小児集中治療室と連携して小児救命救急センターの機能を果たし、子どもたちを重症な病気や感染症から守っていきたくと考えています。

当科では病気の診断や治療だけでなく、子どもたちが感染症にかからないための予防にも積極的に取り組んでいます。持病やアレルギーのため、定期的予防接種がスケジュール通りに行うことが難しい場合、それぞれのお子さんの体の状態に合わせた接種スケジュールを作成し接種を進めています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響でこの3年間は減少していましたが、海外渡航に関連する予防医療も積極的に提供しています。子どもを連れて、もしくは子どもだけで、日本と異なる環境や習慣の所へ旅行・転勤・留学される場合、様々な問題が出てきます。

健康で安全な生活を海外でおくるため、お子さんとご両親に渡航先に必要な情報提供・ワクチン接種・マラリアや高山病の予防薬処方なども行っています。

留学されるお子さんについては、英文のワクチン接種証明書や健康診断書（指定された書類がある方のみ）の作成も行っています。また、輸入感染症の診断や治療も行っていますので、海外から帰国後に体調不良がある場合もご相談ください。



外来担当表

月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
午前	午後								
奥野			堀田	天羽	奥野		天羽	奥野	

● 診察をご希望の場合、紹介状（診療情報提供書）をご用意の上、地域医療連携室でご予約ください。

※ 月・水・金 午前は地域医療機関からご予約をお取りいただける診察予約枠です。

地域医療連携室（☎06-6929-3643）



▲ 小児救急・感染症チーム

## ◆チーム医療のご案内◆

## 認知症ケアサポートチーム活動紹介

精神神経科副部長 引地 克仁

「今日から入院です」となるとどういふ気持ちになるでしょう？ おそらく「どんな検査があるのか、治療はどうなるのか」「病気は良くなるのか」「いつまで入院するのか、その間自宅はどうなるのか」など様々なことが気になり、不安になるのではないのでしょうか。

でも大抵の人は自分が病気で検査や治療が必要で病院にきて入院していることはわかっていますので、多少の不安や気持ちは乗り越えて頑張れることと思います。これが認知症を持つ方ではどうなるのでしょうか。認知症があると日付や時間、自分がどこにいるのかなどの場所が分かりづらくなっています。記憶力も低下していますので入院に際して聞いた説明も忘れてしまっているかもしれません。想像してみてください、今がいつか、ここがどこかもわからないところで、家族や親しい人は見当たらず、全く知らない人たちに囲まれ、何のためにここにいて、何をするのか（されるのか）わからない状況にいることを。そう想像すると認知症を持つ方が家族も帰ってしまった夜になると混乱し、必要な点滴を抜き「家に帰る」と言い出すことが理解できるかと思います。これは一例ですが、我々認知症ケアサポートチームは認知症を抱えた方がなるべくこのような不安なく、安心して安全に適切な医療を受け、できるだけ早期に元の生活に戻れるよう現場のスタッフを通してサポートしています。

この紙面で認知症ケアサポートチームを紹介させて頂くのは、実は2回目なのですが、初めてこの冊子をご覧になる方や、忘れてしまっている方もいらっしゃると思いますので、改めて紹介させていただきます。

冒頭でもお話したように、認知症を持つ方は、環境の変化や病気による体調不良により、点滴を自分で抜いてしまったり、治療の途中なのに「家に帰る」と言って怒り出すなど、いわゆる認知症の行動・心理症状（BPSD）や軽度の意識障害による興奮や混乱状態といった家族や医療者を悩ます行動が生じやすくなります。こういった症状を予防するために、少しでも認知症を持つ方の立場でケアが考えられ、安全に入院生活を送れるように手助けするのが我々チームの役割です。病棟の看護師や医師とチームのメンバーで話し合い、認知症を持つ方が穏やかに過ごせる環境やケアを共に考え、全病棟を訪問し、ケアで困っていることはないか、計画したケアが適切に行われているか確認し、必要に応じてアドバイスを行っています。



▲活動の様子



▲認知症ケアサポートチームコアメンバー

冒頭でもお話したように、認知症を持つ方は、環境の変化や病気による体調不良により、点滴を自分で抜いてしまったり、治療の途中なのに「家に帰る」と言って怒り出すなど、いわゆる認知症の行動・心理症状（BPSD）や軽度の意識障害による興奮や混乱状態といった家族や医療者を悩ます行動が生じやすくなります。

こういった症状を予防するために、少しでも認知症を持つ方の立場でケアが考えられ、安全に入院生活を送れるように手助けするのが我々チームの役割です。

病棟の看護師や医師とチームのメンバーで話し合い、認知症を持つ方が穏やかに過ごせる環境やケアを共に考え、全病棟を訪問し、ケアで困っていることはないか、計画したケアが適切に行われているか確認し、必要に応じてアドバイスを行っています。

## ◆がん診療について◆

## 頭頸部がんについて

耳鼻いんこう科・頭頸部外科副部長 花本 敦

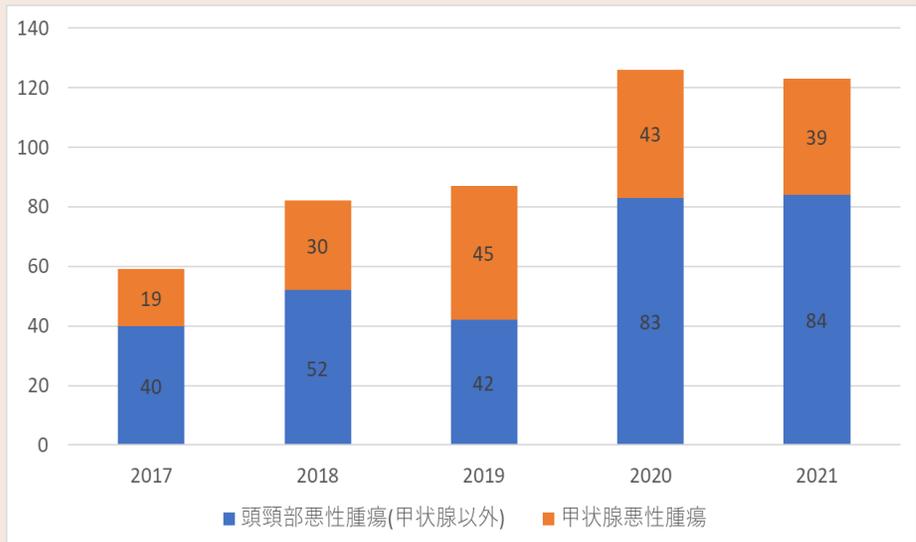
2017年4月より花本が当院に赴任となり、火曜日に頭頸部に関する「腫瘍外来」を担当しております。また2021年4月より科名が「耳鼻いんこう科」より「耳鼻いんこう科・頭頸部外科」となりました。

当科において2017年4月より2022年3月までの5年間で475症例の新規頭頸部悪性腫瘍の治療を行いました。

主な内訳は甲状腺177症例、咽頭125症例、喉頭61症例、口腔53症例、唾液腺24症例、鼻副鼻腔19症例となっております。



▲腫瘍外来スタッフ



＜当科における年次別の新規頭頸部悪性腫瘍症例数＞

## 【頭頸部外科について】

頭頸部外科では頭蓋底から鎖骨上に至る部位(鼻副鼻腔・口腔・咽頭・喉頭・甲状腺など)にできる腫瘍を扱います。甲状腺がんは予後のよい疾患ですが、甲状腺がんを除く頭頸部がんは未だ予後が十分に改善されているとはいえません。そのため迅速な診断、治療の開始が必要であり、手術、放射線治療、化学療法を合わせた集学的な治療が必要です。また、甲状腺がんは手術をすれば多く症例ではがんが制御できます。しかし甲状腺がんを長期放置していると未分化転化し、根治治療が難しくなる場合もあるので、基本手術が必要です。

現在当科で頭頸部外科に関して特に力をいれて取り組んでいることは

①頭頸部がんに対する迅速な集学的治療 ②甲状腺・副甲状腺手術です。

## 【頭頸部がんに対する迅速な集学的治療】

頭頸部がんができる部位は嚥下・発声に関わる部位であり、早期がんであれば内視鏡下の切除が可能な場合もありますが、多くは進行した状態で見つかるため臓器温存の観点から化学放射線療法が選択されます。

また、化学放射線療法後にがんの再発が生じると拡大手術の適応となり、形成外科、消化器外科、口腔外科、脳神経外科などとの合同手術が必要な場合もあります。

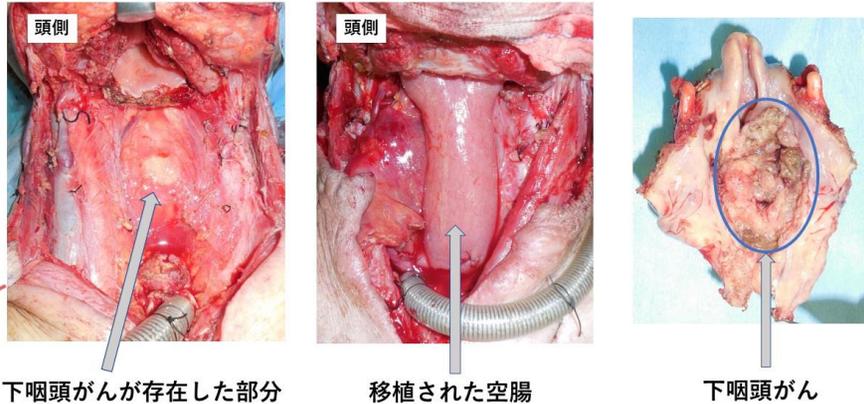
がんは診断、治療の開始が遅れば治癒する確率は下がっていきます。そのため早期に的確な診断ができるよう、できる限り初診時に組織生検を行うようにしています。

また、治療に関して化学放射線療法や拡大手術では調整に時間がかかる場合も多いですので、それまでに化学療法で癌を小さくする導入化学療法を可能な限り早期に行っています。

積極的な拡大手術などを望まれない患者さんにおいては、がんの根治を最優先するのではなく、保険診療内で化学療法を施行するなどできる限り患者さんのご希望に添える治療を心がけています。がんゲノム拠点病院として、がんゲノム医療も積極的に行っています。

<下咽頭がん化学放射線療法後再発症例に対する拡大手術>

「下咽頭がん摘出後」「遊離空腸による咽頭再建」「摘出標本」



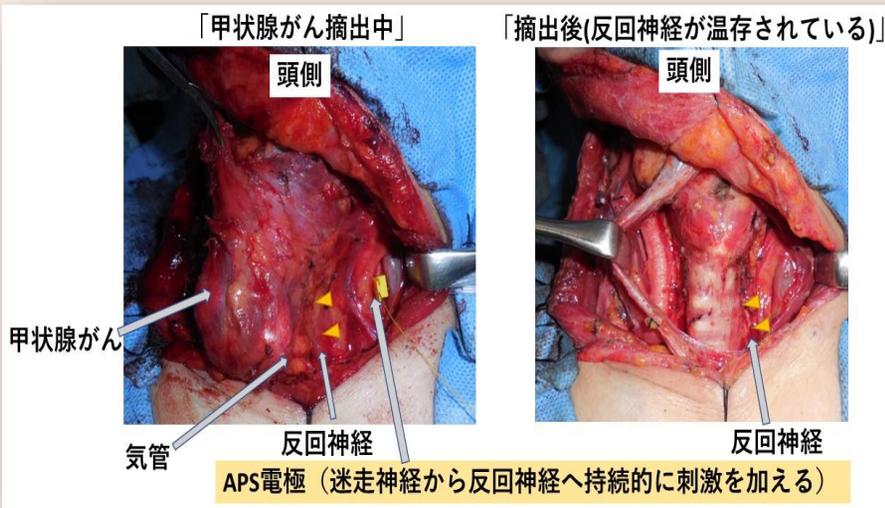
**甲状腺・副甲状腺手術**

当科において2017年4月より2022年3月までの5年間で355症例の甲状腺・副甲状腺手術を施行しております。内訳は甲状腺悪性腫瘍170症例、甲状腺良性腫瘍96症例、副甲状腺疾患49症例、バセドウ病40症例でした。多くの症例は当院内内分泌内科よりご紹介いただいております。

甲状腺は前頸部に存在し、手術では頸部に手術跡が残ります。多くの場合は半年程度できれいになります。できる限り皮膚切開は小さく目立たないようにしています。しかし、整容面を重視するあまり手術の難易度が上がった結果、反回神経損傷（声がかれる）や出血などの合併症が生じてはいけません。腫瘍の大きさや存在している部位、リンパ節転移の有無により、まずは安全第一で副損傷なく行える方法、続いて整容面のケアを症例毎に丁寧に検討して手術を行っています。

反回神経の温存に困難が生じることが想定される場合は術中神経モニタリングを行い、反回神経の温存を確実にしています。また縦隔に進展する腫瘍の症例は呼吸器外科と合同手術での摘出も行っております。

<持続反回神経モニタリングを使用した甲状腺手術>



のどの違和感、頸部腫脹などあれば、まず近医耳鼻科を受診してください。頭頸部腫瘍の一症状である可能性があります。当科では全ての頭頸部腫瘍症例に対して、迅速かつ的確に対応しますので必要時紹介受診をお願いいたします。

**施設認定**

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会専門医制度 専門医研修施設  
 日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医制度 準認定施設  
 日本内分泌外科学会専門医制度 関連施設



# 連携登録医のご紹介 (五十音順)

かかりつけ医とは、病気になったときなどにすぐに相談できる地域にある医院やクリニック、診療所などのお医者さんです。日常的に相談でき、緊急の場合にも対処してくれるかかりつけ医をもちましょう。



日常の診療・健康管理はかかりつけ医で

専門的な検査・治療は当院で

病状が安定したら再びかかりつけ医で

## あきこ皮膚科

院長 境 亜紀子 (さかい あきこ)

診療科 皮膚科

住所 大阪市都島区友洲町1-5-4ヘルパークシティF棟

電話 06-6922-1122

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (8:30~12:00)	○	○	○	×	○	▲
午後 (15:30~19:00)	×	×	○	×	○	×

※現在、人数制限を行っています。詳しくはホームページを確認ください。  
 ※休診日：月曜日午後、火曜日午後、木曜、第1、5土曜午後、日曜、祝日  
 (▲第2,3,4土曜は診療)



クリニック外観

### 院長あいさつ

丁寧な問診ならびに視診、必要に応じて諸検査をしながら治療にあたります。皮膚に関するトラブルはどんな小さい事でもお気軽にご相談下さい。アレルギー性皮膚炎、手あれ、かぶれ、乾燥肌(皮脂欠乏症)、じんましん、にきび、水虫、いぼ、うおのめ・たこ、ヘルペス、帯状疱疹、白斑、円形脱毛症、皮膚腫瘍(ほくろ、粉瘤、老人性いぼ、皮膚がん)、乾癬、やけど、外傷(きず)など全般的な皮膚疾患に対する診察と治療を行い、必要な医療機関(近隣の総合病院、大学病院)と適切に連携し治療を行ってまいります。常に分かりやすい説明を心掛け、地域の皆様に心のこもった医療を提供してまいります。

## あさいこどもクリニック

院長 浅井 定三郎 (あさい さださぶろう)

診療科 小児科、アレルギー科

住所 大阪市都島区友洲町2-1-5-2階

電話 06-6926-1850

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (8:30~12:00)	○	○	×	○	○	○
午後 (15:30~19:00)	○	○	×	×	○	×

※休診日：日曜、祝日、水曜、土曜午後



浅井院長

### 院長あいさつ

小児科医として、患児の全身状態と周囲の状況をすべて把握しようと努めながら診療をすすめています。子供さんの場合、重複感染しているケースも多いので複数の病原体のどれが主因になっているかを迅速診断などを活用して、的確に把握し数日後にはどういう推移をしていくかを推定してご説明しています。子供さんの病気はほとんどが1週間以内に峠を越えてゆっくり治っていくことが多い事を考慮しながら 不必要な治療を長期間つづけないよう努め、自分の子供だったら どんな検査や治療が必要になるかなと思いつつ診察していく事を心がけています。

## 京橋クリニック (眼科)

院長 佐々原 学 (ささはら まなぶ)

診療科 眼科

住所 大阪市都島区東野田町2丁目9-12

松和京橋第2ビル4F

電話 06-6352-9028

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (10:00~13:00)	○	○	○	×	○	○
午後 (15:00~18:30)	○	○	○	×	○	○

休診日：木曜、日曜、祝日



佐々原院長

### 院長あいさつ

一般診療から最新治療まで経験豊富な眼科専門の医師が、最新機器を駆使し、幅広い診療を行っています。患者さんのさまざまなニーズに対応するべく、自由診療も積極的に行っております。「患者さんが納得するまで説明してあげたい」という医師の信念の元、開業時からクラーク制を導入し、患者さんと向き合う時間を確保することを実践してきました。写真や自作の図を用いて、病気の状態をわかりやすくご説明いたします。眼科専門の検査員(視能訓練士)が常駐しており、子供さんや、斜視・弱視の方、低視力の方も安心してご来院頂けます。

## 京橋駅前クリニック

院長 長谷川 陽一 (はせがわ よういち)  
 診療科 内科 小児科 皮膚科 耳鼻咽喉科  
 住所 大阪市都島区東野田町5丁目2-29  
 京橋サンパティオビル1階  
 電話 06-6358-3387



長谷川院長

### 院長あいさつ

当院は内科・耳鼻科・皮膚科のクリニックとして地域の皆さんのお役に立つべく、専門性の高い医療を提供したいと考えています。CTも設備し最新の診断機器を積極的に利用し、患者さんに納得していただける的確な診断に努めます。舌下免疫療法・レーザー治療も行っており、その際必要となるアレルギー検査として指先から少量の血液で検査できるドロップスクリーンも設置しております。患者さんのライフスタイルに応じた治療を提供できるよう努めてまいりたいと思います。

外来	月	火	水	木	金	土	日
午前 (8:30~12:00)	○	○	○	○	○	○	○
午後 (15:30~19:00)	○	○	○	○	○	×	×

休診日：土曜午後 日曜午後  
 土・日曜9:30~14:30 日曜は耳鼻科のみ 詳しくはホームページを参照ください

## こうり眼科クリニック

院長 洪里 卓志 (こうり たくし)  
 診療科 眼科  
 住所 大阪市都島区善源寺町1-5-54  
 都島高砂ビル5F  
 電話 06-6925-3301



洪里院長

### 院長あいさつ

現代人の視覚から得られる情報は約85%以上と言われていています。他の感覚と比べて圧倒的な情報量です。確かに眼が見えなくても生きることはできますが、見えないことはどれほど生きることに不自由があるのか想像したことがあるでしょうか？  
 当たり前のように見えることは、実はとても複雑な機能で、神秘的なところでもあります。そのような眼に関することを、疾患に限らずできるだけわかりやすく説明するように心がけています。  
 地域の皆さまの眼に関する不安はどんなことでもご相談下さい。

外来	月	火	水	木	金	土	日
午前 (10:00~12:30)	○	×	○	○	○	○	○
午後 (15:00~19:00)	▲	×	○	○	○	×	×

※▲第1月曜のみ午後17:30~19:30  
 ※祝日前日曜は終日休診

## 祐クリニック

院長 道清 勉 (どうせい つとむ)  
 診療科 外科、内科、往診、訪診、訪看  
 住所 大阪市都島区都島本通3-28-12  
 電話 06-6926-0103



道清院長

### 院長あいさつ

「気軽に何でも尋ねられる」クリニックにするという私の決意です。それを実現させるため、私は「誠実」をモットーの一つにあげます。「熱意」をもって、仕事をするというのが、第二のモットーです。患者さんへの愛があるから、休みの日であろうと、夜中であろうと、必要なときは、患者さんのために働くのだと。この教えも私のモットーの一つ、「愛情」を持って診療するになりました。  
 「誠実」「熱意」「愛情」、この3つをモットーに日々の診療にあたり、地域の皆さんに信頼されるかかりつけ医になれるよう努力しますので、よろしくお願い申し上げます。

外来	月	火	水	木	金	土
午前 (8:30~12:00)	○	○	×	○	○	○
午後 (15:30~19:00)	○	○	×	×	○	×

※火曜・水曜・金曜・土曜午後、日曜、祝日は休診  
 ※在宅医療：月・火・水・木・金 13:00~17:00

## よしだクリニック

院長 吉田ひろみ (よしだ ひろみ)  
 診療科 内科、往診、訪診、訪看  
 住所 大阪市都島区内代町2-13-2  
 電話 06-6958-5231



吉田院長

### 院長あいさつ

大阪市立大学第2内科で内分泌疾患の研修、研究を行い、大学院卒業後は舞子台病院で救急医療を行い、平成4年より城東区のみれ病院で、平成22年より旭区の診療所ゆうゆうでがんの患者さんの緩和ケアの診療を行ってきました。これまでの経験を活かし、さらに充実した地域医療を提供したいと考え、平成28年12月に内代で、よしだクリニックを開院しました。今後さらに高齢者、生活習慣病の患者さんが増加し、さらにがんの患者さんの緩和ケアの必要性が高まることより、長年勤務していた地域の皆様のお役に立てるようなクリニックを作っていきたいと思っています。

外来	月	火	水	木	金	土	日
午前 (8:30~12:00)	○	○	○	○	○	○	○
午後 (15:30~19:00)	○	○	○	○	○	×	×

※火曜・水曜・金要・土曜の午後、日曜、祝日は休診です。  
 ※訪問診療については午後火曜・日曜、祝日は行っていません。

# おいしく減塩「乳和食」！！シリーズ②

## 「麺料理で夏バテ予防&スタミナUP！！🔥」

●●● 栄養部 對馬 和

栄養だより

夏バテ予防に効果的な栄養素・成分  
糖質がエネルギーに変わるのをサポートしてくれる

●ビタミンB1

糖質がエネルギーに変わるのをサポートしてくれる  
成人女性の推奨量：1.1mg/日（日本人の食事摂取基準2020年版より）



豚肉100g  
(0.94mg)



うなぎの蒲焼  
1/2切れ80g  
(0.6mg)



紅鮭一切れ  
(大) 90g  
(0.23mg)



ねぎ



にんにく



にら

●メニュー

### 【～ピリ辛坦々混ぜそうめん～】

厳しい暑さが続く夏は、簡単に準備できて栄養満点なメニューを上手に取り入れ、夏バテを撃退しましょう！今回は牛乳を使ったピリ辛そうめんをご紹介します！！

<栄養価>

エネルギー：575kcal  
たんぱく質：29.0g  
脂質：19.9g 炭水化物：69.9g  
ビタミンB1：1.04mg 食塩相当量：1.9g



一般的な冷やし中華  
(食塩：4.8g)と比較して  
食塩量が半分に！

材料（1人分）

- そうめん・・・1束
- 豚こま肉・・・100g
- 酒・・・大さじ1/2
- こねぎ・・・適量
- キュウリ・・・1/4本
- ミニトマト・・・2個
- (A) 牛乳・・・100ml
- 麺つゆ（2倍濃縮）・・・大さじ2/3強
- 白すりごま・・・大さじ1
- みそ・・・小さじ1/2
- ラー油・・・小さじ2/3強

～作り方～

- ①キュウリは千切りにする。ミニトマトは半分に切る。
- ②耐熱皿に豚こま肉を広げて並べ、お酒を回しかける。  
600wの電子レンジで2分30秒加熱する。
- ③ボウルに（A）の材料をいれて混ぜ合わせる。
- ④そうめんをパッケージの表記通りにゆで、流水で洗って水気を切る。
- ⑤器にそうめん、きゅうり、豚肉、トマトを盛り付け、③を回しかける。  
最後に小ねぎをトッピングして完成。（調理時間：10分程度）

●外来にて、栄養相談・栄養指導行っています。ご希望される方は主治医へご相談ください。

## インフォメーション



### ◆がん相談支援センター

がん患者さんやご家族からのがんに関する相談をお受けしています。一人で悩まず、気軽にご相談ください。相談は無料です。匿名の相談も可能です。

電話 06-6929-3632(直通)

窓口 病院 1階 総合医療相談窓口

受付時間 平日 9時～16時（年末年始を除く）



がん相談支援センター  
ホームページ



●今回はさくらホールではなく、WEB講演会になります。詳しくはホームページで確認をお願いします。

大阪市立総合医療センター

検索

■発行責任者：大阪市立総合医療センター

〒534-0021

大阪市都島区都島本通2-13-22

地域医療推進委員会委員長 山根 孝久

<http://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/>